



**NISSHA**

2023年12月期  
決算説明会

2024年2月14日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

# 本日の内容

- 2023年12月期の実績
- 2024年12月期の計画
- 第7次中期経営計画のレビュー

# 2023年12月期の実績 2024年12月期の計画

# ハイライト

## 2023年12月期の実績

- Tailwinds
  - 産業資材：モビリティ向け加飾で力強く増加（日・米・欧・中ともに）
  - メディカルテクノロジー：医療機器CDMOで持続的成長、利益が大幅改善、成長投資として企業買収を実行（低侵襲手術機器の精密化・操作性向上）
- Headwinds
  - デバイス：タブレットや業務用端末向けで需要減少（コロナ特需の終了・在庫調整）
  - 産業資材：蒸着紙で需要減少（サプライチェーン在庫の調整長期化）
  - 割引率の大幅上昇により、産業資材（蒸着紙）でのれんの減損損失を計上（インフレ・新興市場のコントリビューションリスク）

## 2024年12月期の計画

- 増収増益
- 売上高1,865億円、営業利益58億円、親会社の所有者に帰属する当期利益37億円
- 為替前提：135円/USD

## 2023年12月期（通期）の実績

（百万円）

	2022 実績	2023 実績	前期比
売上高	193,963	167,726	▲13.5%
産業資材	73,558	68,762	▲6.5%
デバイス	79,968	54,862	▲31.4%
メディカルテクノロジー	32,457	✓ 36,011	+10.9%
その他	7,978	8,088	+1.4%
営業利益	9,520	※ <sup>1</sup> ▲ 3,817	-
営業利益率	4.9%	-2.3%	-7.2pt
産業資材	3,390	※ <sup>1</sup> 93	▲97.2%
デバイス	8,286	▲ 1,580	-
メディカルテクノロジー	490	✓ 1,493	+204.6%
その他	▲ 2,646	※ <sup>2</sup> ▲ 3,823	-
税引前利益	12,373	▲ 2,762	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	10,140	▲ 2,988	-
為替レート	¥128/\$	¥138/\$	-

※1 減損損失▲27億円含む

※2 為替損益（前年比▲10億円）含む

## 2023年12月期 Q4（3カ月）の実績

(百万円)

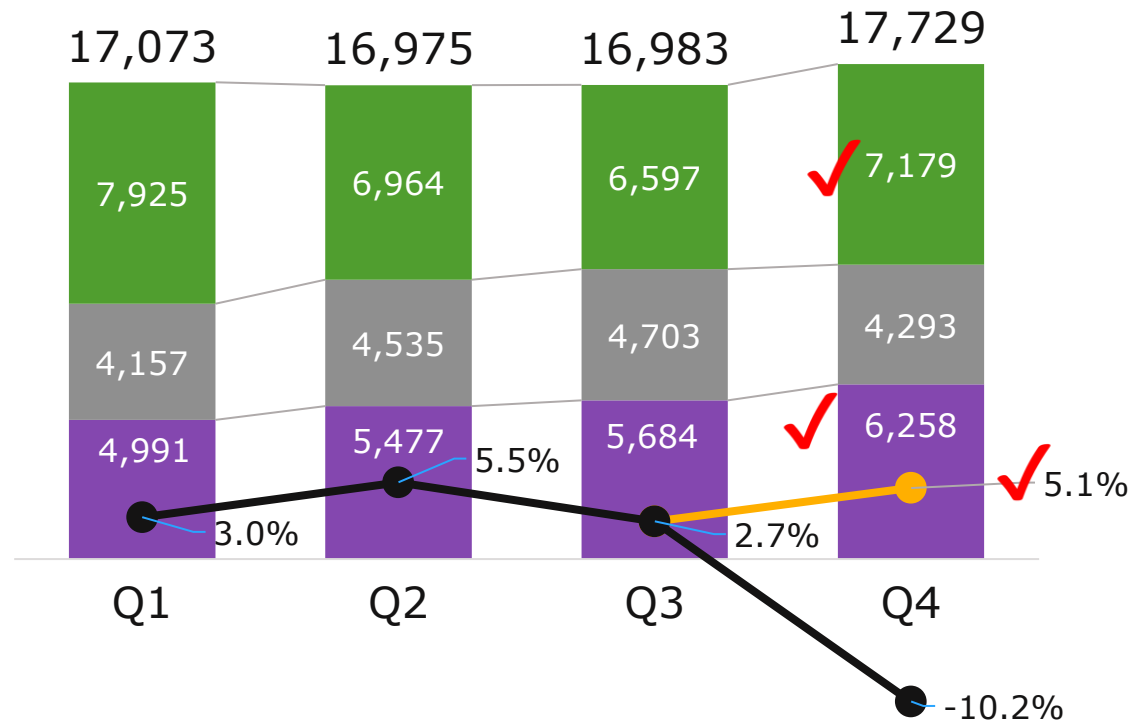
	2022 Q4 実績	2023 Q3 実績	2023 Q4 実績	前年同期比 (2022 Q4比)	前四半期比 (2023 Q3比)
売上高	52,581	40,879	43,840	▲16.6%	✓ +7.2%
産業資材	18,611	16,983	17,729	▲4.7%	✓ +4.4%
デバイス	22,717	13,146	13,877	▲38.9%	✓ +5.6%
メディカルテクノロジー	8,976	8,937	9,755	+8.7%	✓ +9.2%
その他	2,276	1,812	2,478	+8.9%	+36.8%
営業利益	▲ 160	▲ 472	※ <sup>1</sup> ▲ 3,403	-	-
営業利益率	-0.3%	-1.2%	-7.8%	-7.5pt	-6.6pt
産業資材	▲ 1,139	458	※ <sup>1</sup> ▲ 1,811	-	-
デバイス	1,747	▲ 323	▲ 54	-	-
メディカルテクノロジー	338	280	185	▲45.3%	▲33.9%
その他	▲ 1,107	▲ 887	※ <sup>2</sup> ▲ 1,722	-	-
税引前利益	▲ 1,576	▲ 88	▲ 3,761	-	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	▲ 1,677	▲ 225	▲ 3,564	-	-
為替レート	¥143/\$	¥141/\$	¥148/\$		

※1 減損損失▲27億円含む

※2 為替損益（前四半期比▲8億）含む

# 産業資材：2023Q4（3カ月）実績

## 四半期別 売上高・営業利益率



### ● 売上高 Q3比増収

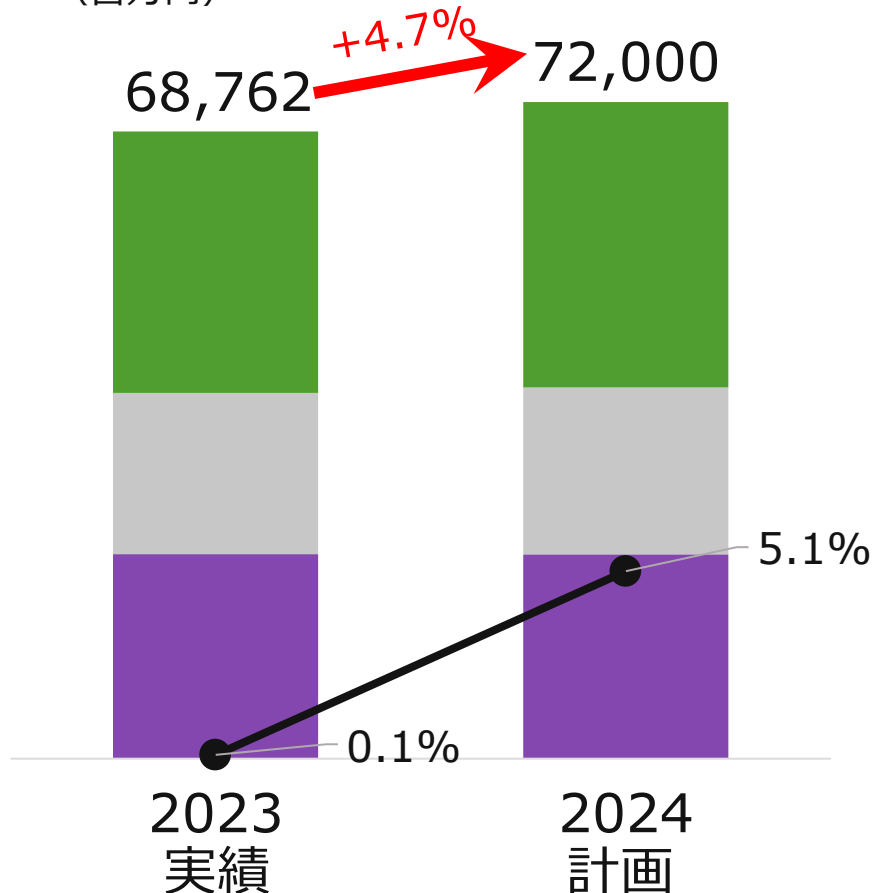
- 加飾（モビリティ）：中国のEV新モデルで量産開始
- サステナブル資材（蒸着紙）：Q3で底打ち

### ● 営業利益

- 加飾：増収効果と生産性改善・DX駆使
- 蒸着紙：固定費の圧縮、材料価格の低減
- 蒸着紙：のれんの減損損失
  - 減損テストに使用する割引率が15%に上昇
  - 販売国のインフレ
  - カントリーリスクプレミアム（新興国）

# 産業資材：2024年 計画

■ サステナブル資材（蒸着紙など） ■ 加飾（家電その他）  
 ■ 加飾（モビリティ） ● 営業利益率  
 (百万円)



## ● 2023年比 増収増益

## ● 需要環境

- 加飾（モビリティ）：力強い需要が継続
- サステナブル資材（蒸着紙）：サプライチェーン在庫が正常化、Q2から需要増加

## ● ポイント

- 利益改善
  - 値上げの実施（加飾）
  - 海外グループ会社の生産性改善（自動化）と固定費の圧縮
- モビリティ外装向け部品の受注促進
  - 2026年の売上高は40億円規模に成長

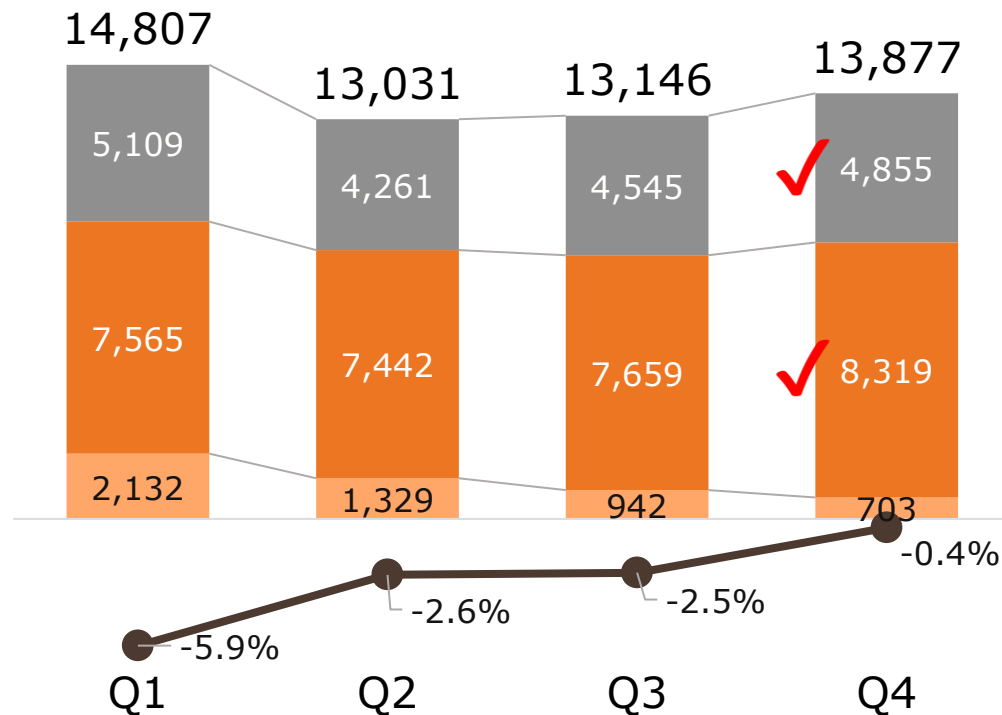




# デバイス：2023Q4（3カ月）実績

## 四半期別 売上高・営業利益率

■ ゲーム機・業務用端末（物流関連）・モビリティ向け、ガスセンサーなど  
 ■ タブレット向け ■ スマートフォン向け ● 営業利益率  
 (百万円)



### ● 売上高 Q3比増収

- タブレット：需要増加、増産体制に移行
- 業務用端末：Q4から需要増加
- モビリティ：中国EV向けで需要増加

### ● 営業利益

- 需要増加によりブレークイーブンまで赤字縮小
- 生産ラインの最適化によるコスト削減

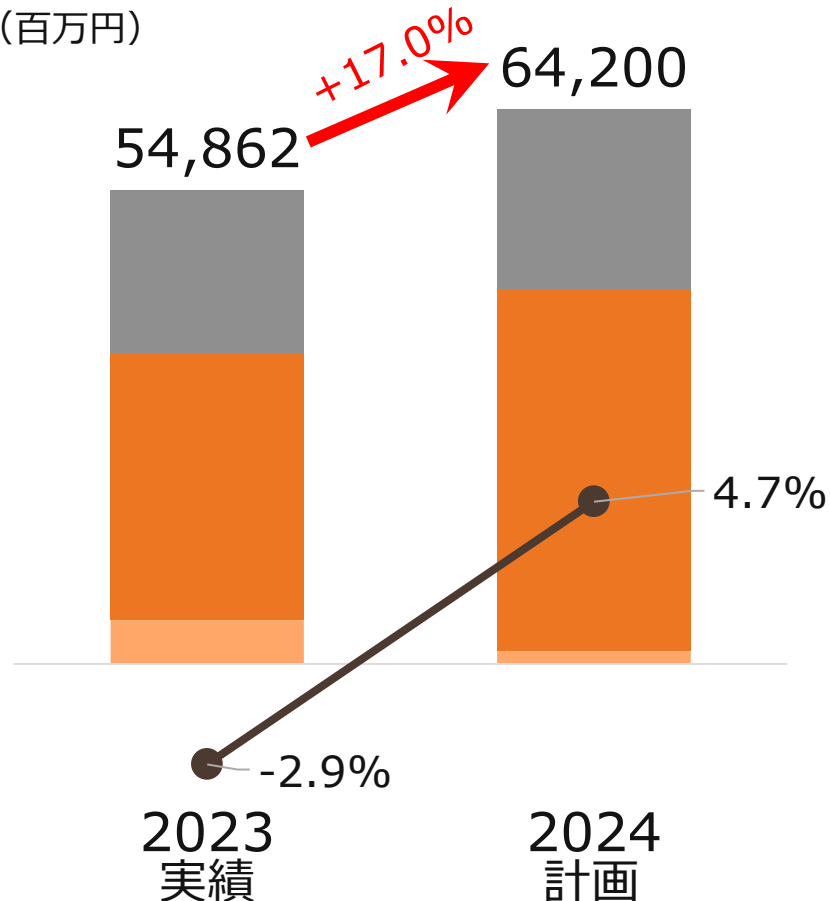
# デバイス：2024年 計画

■ ゲーム機・業務用端末（物流関連）・  
モビリティ向け、ガスセンサーなど

■ タブレット向け

■ スマートフォン向け ● 営業利益率

(百万円)



## ● 2023年比 増収増益

## ● 需要環境

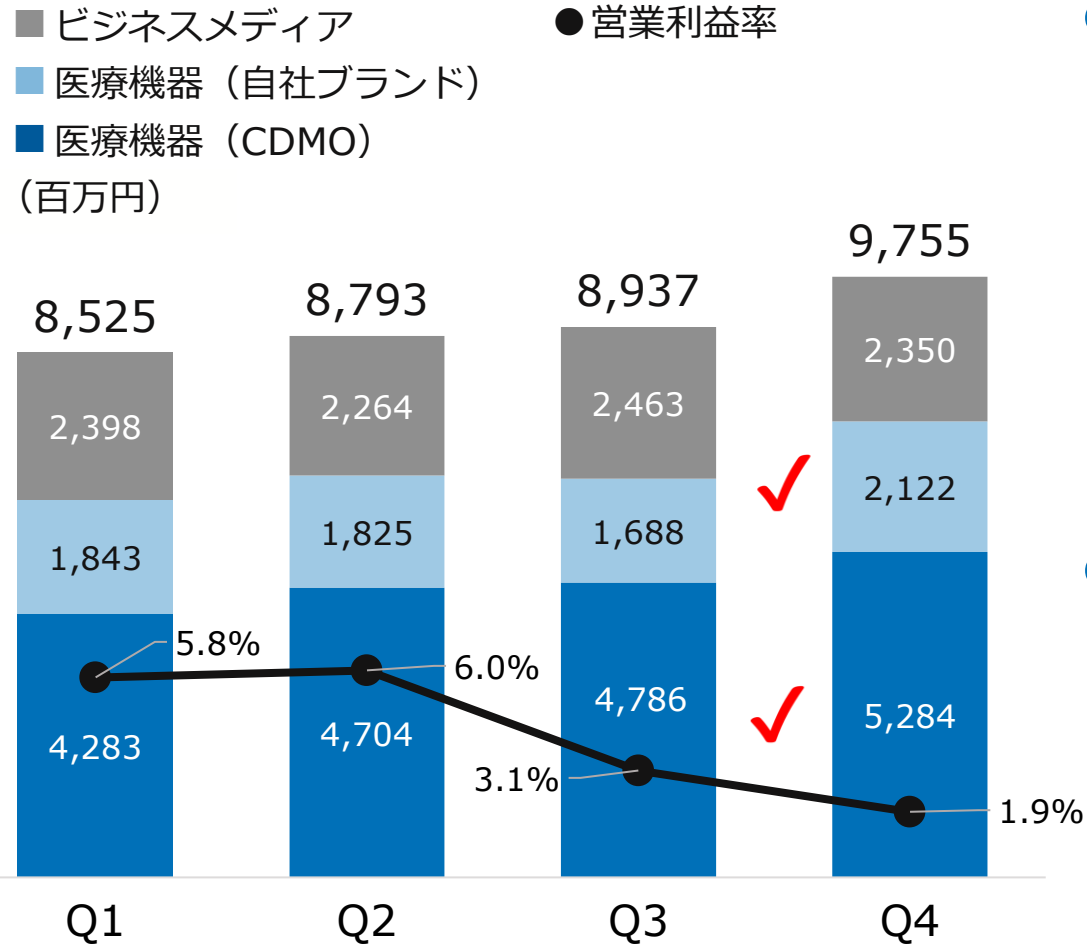
- タブレット：Q1からグレードアップと需要増加
- モビリティ：中国EV向けモデルの通年寄与、採用モデル拡大

## ● ポイント

- Q1から黒字回復
- 需要増加と単価アップ（グレードアップ）による利益改善
- 工程自動化などによる省人化・DX駆使
- 能登半島地震の影響（加賀工場）は軽微

# メディカルテクノロジー：2023Q4（3カ月）実績

## 四半期別 売上高・営業利益率



### ● 売上高 Q3比増収

- 医療機器（CDMO）
  - 受注残の解消により、Q3比で増収
- 医療機器（自社ブランド）
  - Cardinal Health（医療用チャートペーパー事業）の買収が業績寄与（11月～）

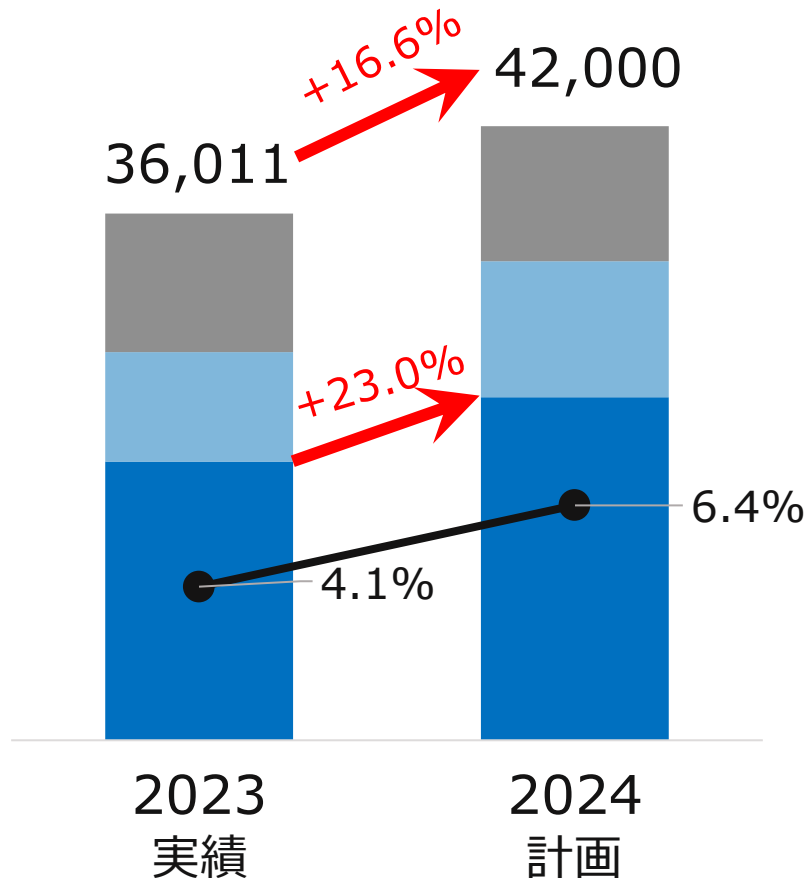
### ● 営業利益

- 自動化・プロセス改善による効率化
- ビジネスメディアで値上げ
- 買収費用など一時費用を計上

# メディカルテクノロジー：2024年 計画

■ ビジネスメディア ■ 医療機器（自社ブランド）  
■ 医療機器（CDMO） ● 営業利益率

(百万円)



## ● 2023年比 増収増益、成長が継続

## ● 需要環境

- 医療機器CDMO：低侵襲医療用手術機器や医療用ウェアラブルセンサーが引き続き成長

## ● ポイント

- 自動化・プロセス改善による生産性・効率性の向上
- 買収企業が業績寄与
  - Cardinal Health 医療用チャートペーパー事業：売上高16億円、営業利益2億円（自社ブランド）
  - Isometric Micro Molding：（2024年3月から連結）売上高26億円、営業利益4億円（医療機器CDMO）



米国市場のシェア70%

©2024 Nissha Group



低侵襲手術機器の精密化に寄与

# 2024年12月期 業績計画

EMPOWERING YOUR VISION

## ●増収増益、全事業で増収増益

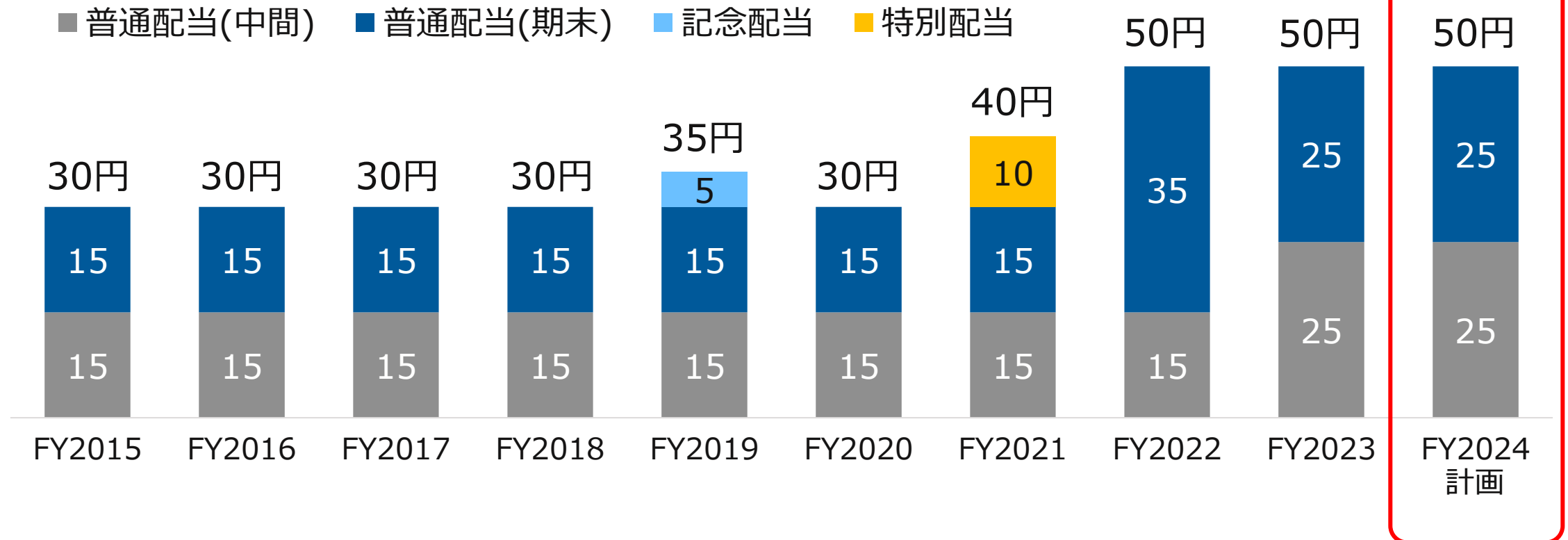
(百万円)

	2023 通期 実績	2024 通期 計画	H1 計画	H2 計画	前期比
売上高	167,726	186,500	91,500	95,000	✓ +11.2%
産業資材	68,762	72,000	35,000	37,000	✓ +4.7%
デバイス	54,862	64,200	32,000	32,200	✓ +17.0%
メディカルテクノロジー	36,011	42,000	20,500	21,500	✓ +16.6%
その他	8,088	8,300	4,000	4,300	+2.6%
営業利益	▲ 3,817	5,800	2,500	3,300	✓ 黒字化
営業利益率	-2.3%	3.1%	2.7%	3.5%	+5.4pt
産業資材	93	3,700	1,500	2,200	✓ +3,849.8%
デバイス	▲ 1,580	3,000	1,500	1,500	✓ 黒字化
メディカルテクノロジー	1,493	2,700	1,200	1,500	✓ +80.8%
その他	▲ 3,823	▲ 3,600	▲ 1,700	▲ 1,900	-
税引前利益	▲ 2,762	5,400	2,400	3,000	黒字化
親会社の所有者に帰属する 当期（四半期）利益	▲ 2,988	3,700	1,500	2,200	黒字化
為替レート	¥138/\$	¥135/\$	¥135/\$	¥135/\$	-

# 配当

- 中長期の成長を見据え、1株当たりの年間配当金は50円を継続予定

1株当たり年間配当金



# 自己株式の取得

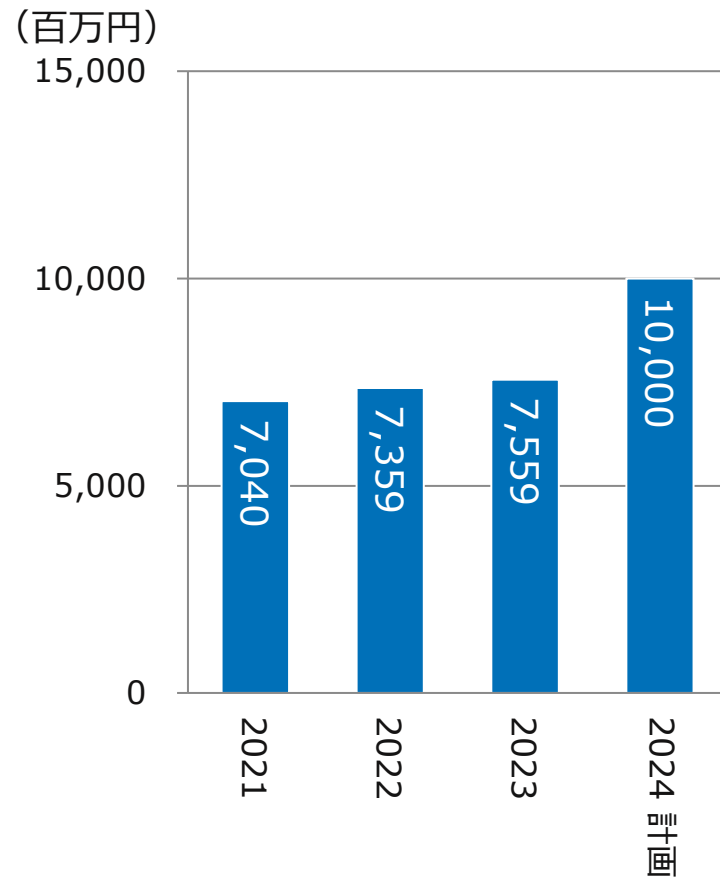
- 2023年11月9日、自己株式の取得を公表
- 2024年2月1日、取得完了
  - 理由：株主還元、資本効率の向上

## 概要

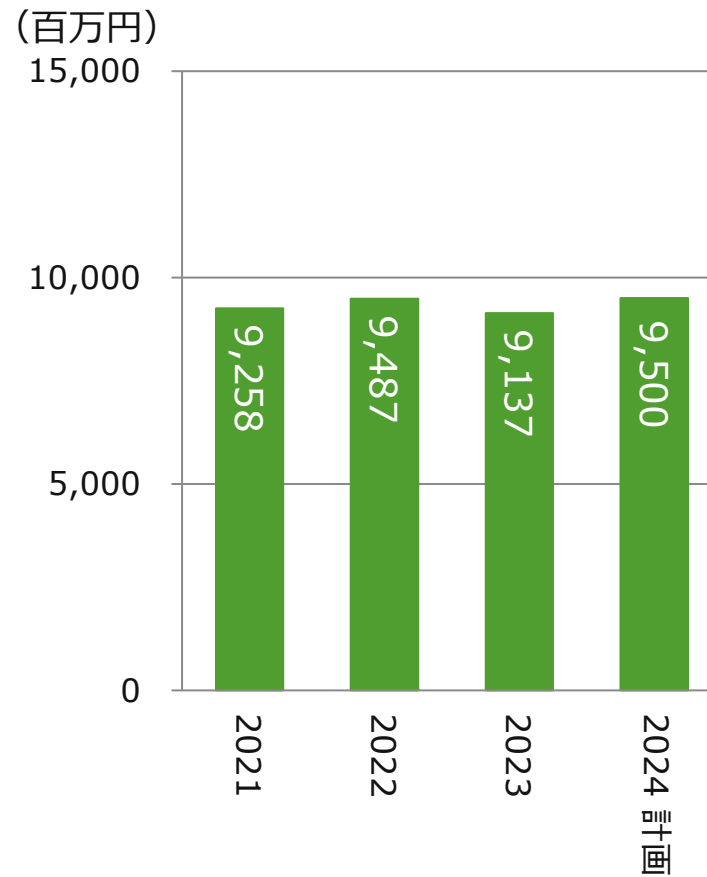
取得対象株式の種類	当社普通株式
取得方法	東京証券取引所における市場買付
取得した株式の総数	653,800株
株式の取得価額の総額	999,941,700円

# 設備投資・減価償却費及び償却費・研究開発費

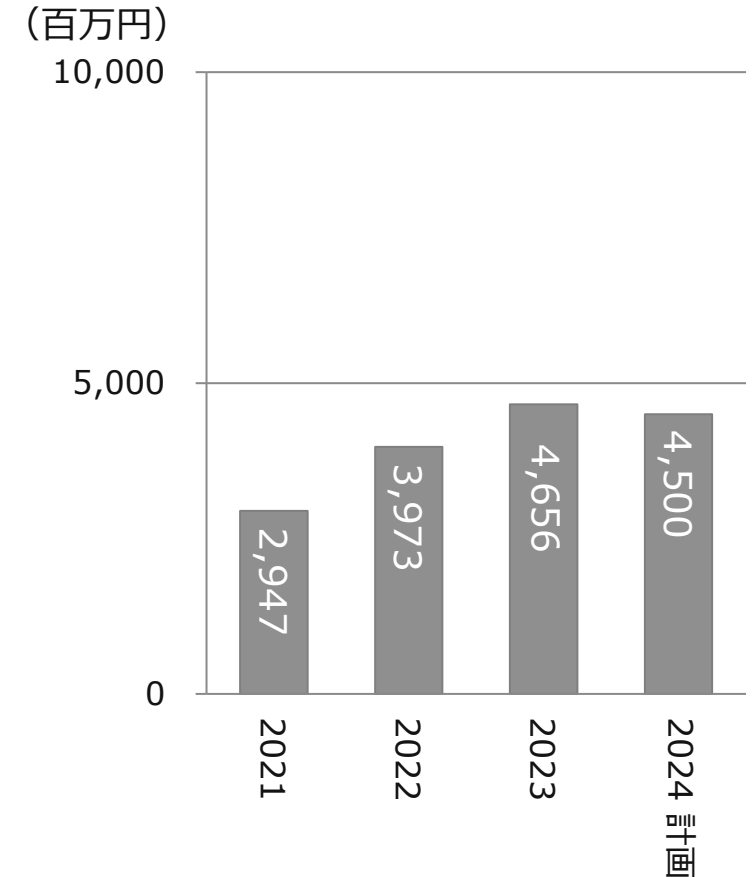
## 設備投資



## 減価償却費及び償却費



## 研究開発費

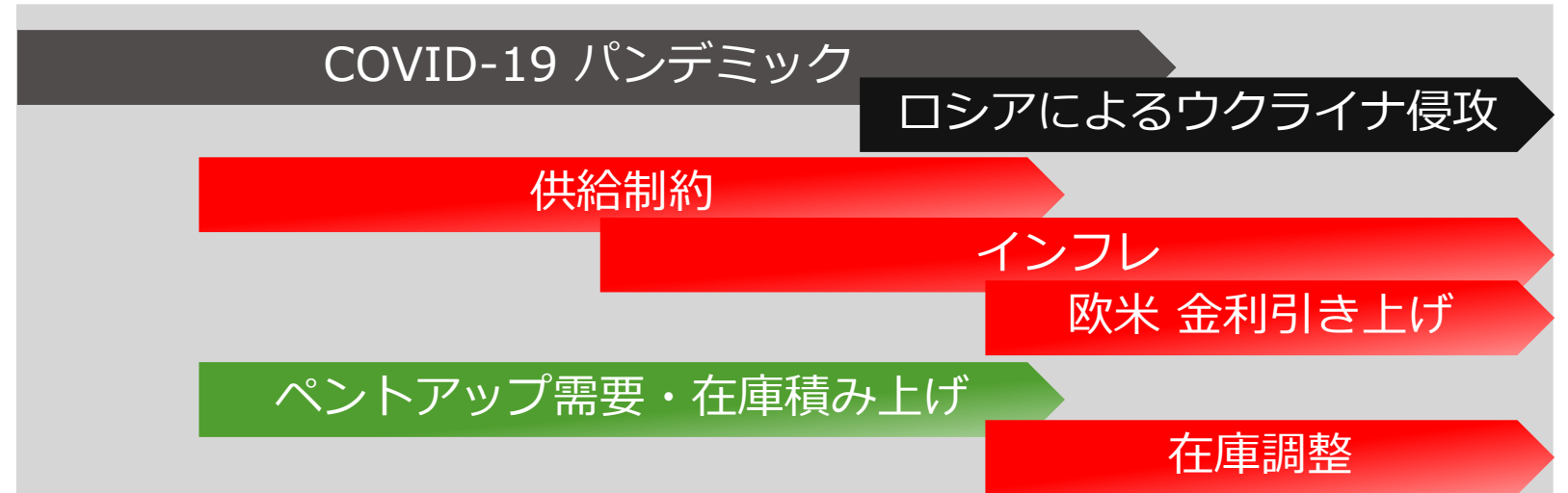




# 第7次中期経営計画のレビュー

# 外部環境の激しい変化の下、需要が大幅に変動

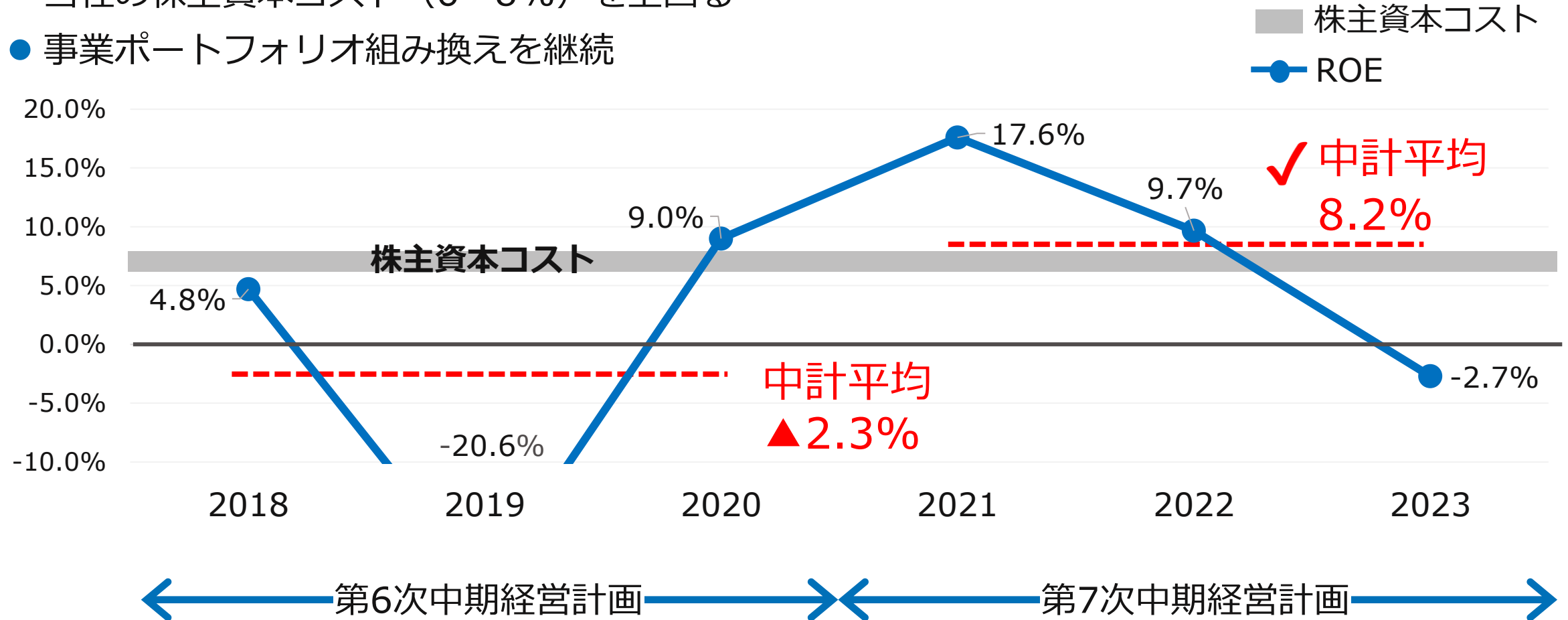
## 外部環境の変化



	第6次 中期経営計画	第7次中期経営計画		
	2020年 実績	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績
売上高 (百万円)	180,006	189,285	193,963	167,726
営業利益 (百万円) (営業利益率)	7,278 (4.0%)	17,363 (9.2%)	9,520 (4.9%)	▲ 3,817 (▲ 2.3%)
ROE	9.0%	17.6%	9.7%	▲ 2.7%
為替レート	¥ 106/\$	¥ 108/\$	¥ 128/\$	¥ 138/\$

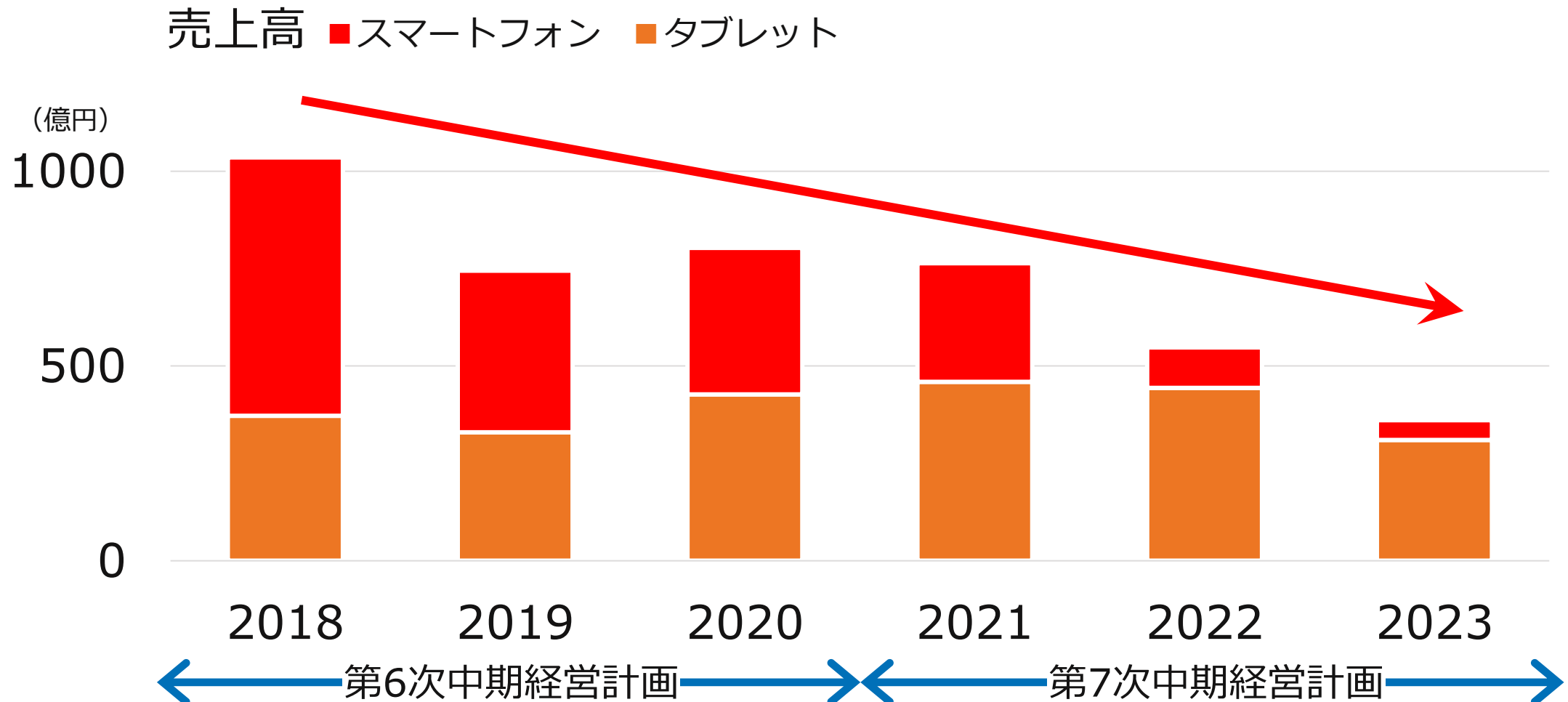
# 中計3年間の平均ROEは改善、年度により上下変動

- 平均ROE：第7次中期経営計画は第6次中期経営計画から大幅改善、第7次中計の平均ROEは当社の株主資本コスト（6～8%）を上回る
- 事業ポートフォリオ組み換えを継続

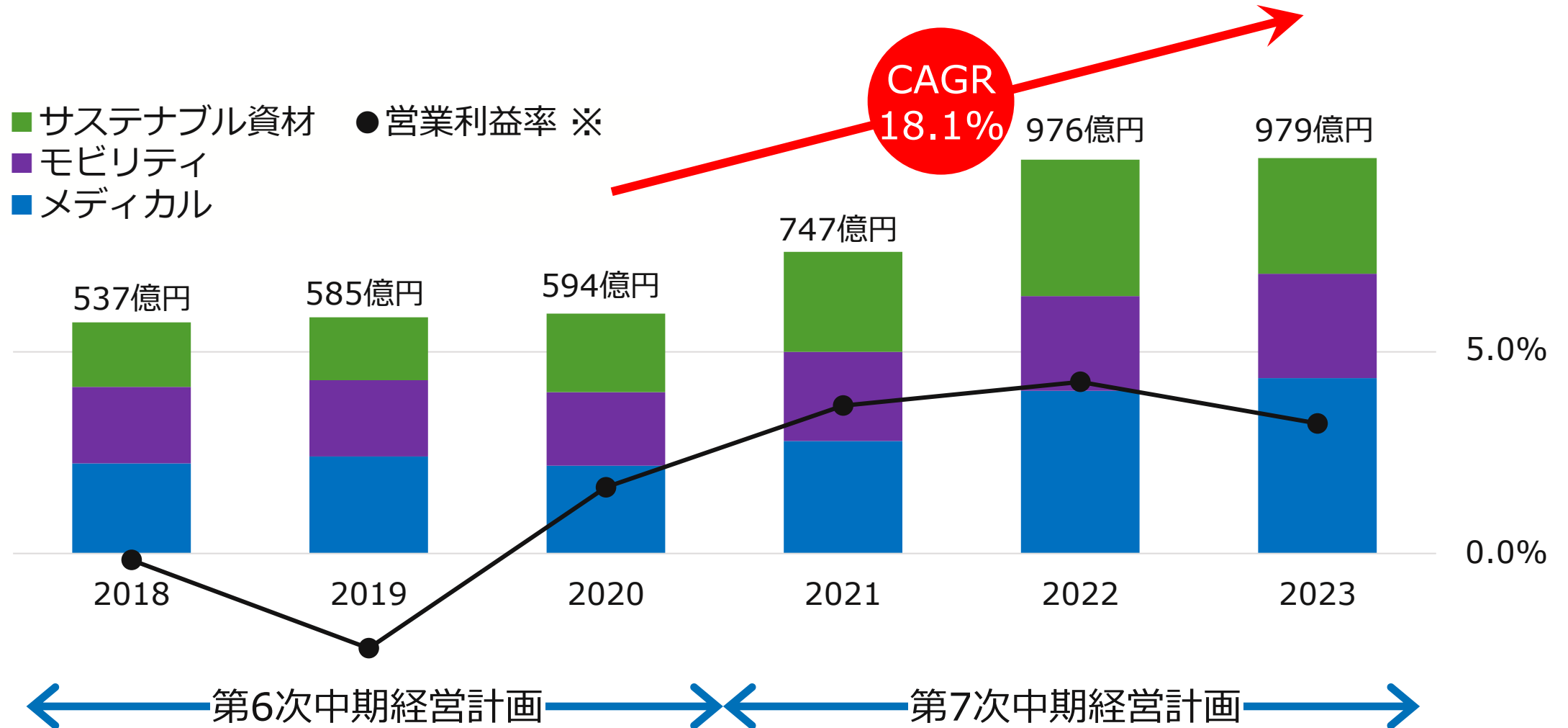


# IT機器の縮減、将来の需要ボラティリティを抑制

- 需要変動の激しいスマートフォンから戦略的撤退



# 非IT機器の重点3市場が拡大、利益に貢献



# 第8次中期経営計画

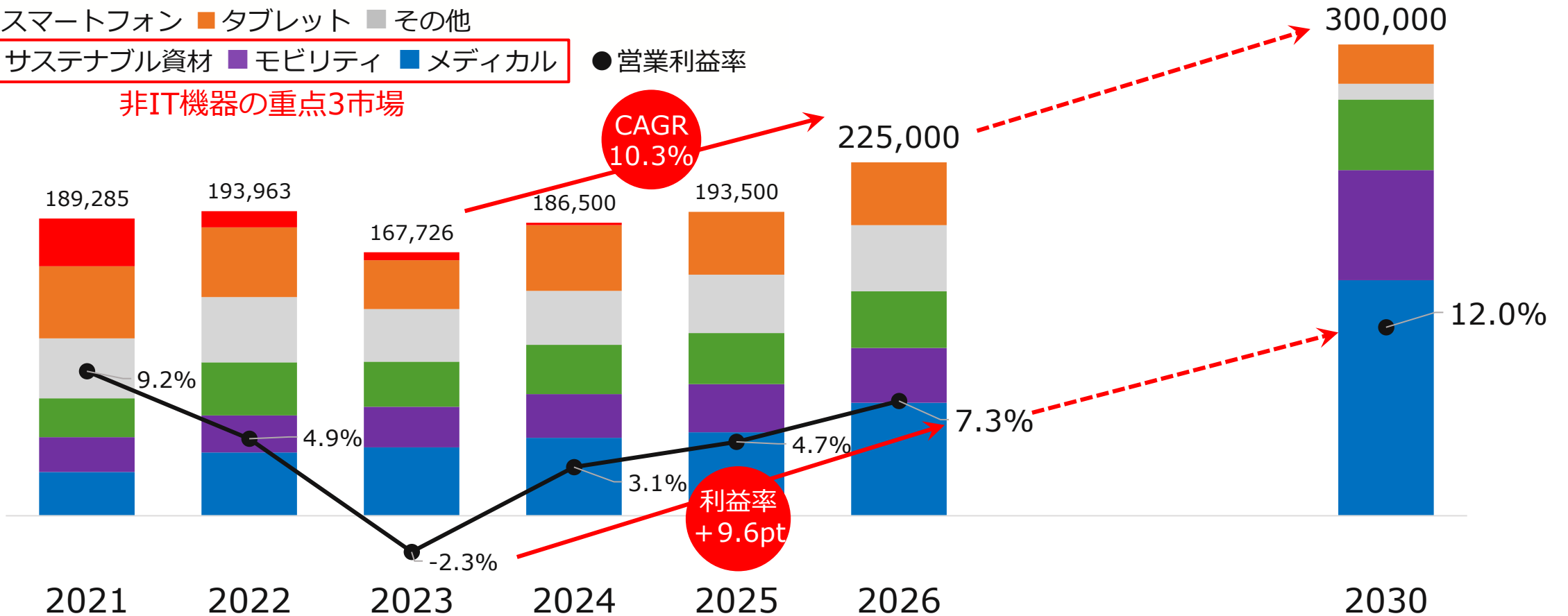
- 非IT機器の重点3市場の成長を加速
- 利益率の向上・安定化

■ スマートフォン ■ タブレット ■ その他

■ サステナブル資材 ■ モビリティ ■ メディカル

● 営業利益率

非IT機器の重点3市場



← 第7次中期経営計画 → ← 第8次中期経営計画 →

サステナビリティビジョン

# 第8次中期経営計画 説明会

- 日時：2024年2月28日（水） 11:00-12:30
- 場所：丸ビルコンファレンススクエアRoom4
  
- 内容
  - 企業価値向上に向けた事業ポートフォリオ戦略の強化（PBR）
  - 第8次中期経営計画
    - 第8次中計の事業ポートフォリオ
    - 重点市場の戦略（医療機器、モビリティ、サステナブル資材、IT機器）
    - キャッシュアロケーションと株主還元
    - ポートフォリオ戦略を支える取り組み（人的資本、生産性・効率性の改善など）

(ご参考)  
 設備投資・減価償却費及び償却費・M&A投資・  
 研究開発費 (2023年)

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績	第3四半期 (7-9月) 実績	第4四半期 (10-12月) 実績
設備投資	1,817	729	2,273	2,739
減価償却費 及び償却費	2,250	2,270	2,338	2,278
M&A投資	2,611	359	42	739
研究開発費	1,095	1,132	1,124	1,303



本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。